

TCプロテクター 細胞凍結保存法

■ 凍結方法 ■

- ① 接着性細胞の場合は80%シート時に培地を交換し、翌日に凍結を行う。
浮遊性細胞の場合は培地交換(培地の補充)を行い、翌日に凍結を行う。
※細胞を良好な状態で凍結保存するには、対数増殖期の細胞を使用することが重要である。
※コンフルエントに達した細胞や過増殖を起こした細胞は、凍結後の生存率が低下する。
- ② 細胞を定法に従い回収し、1,500rpm で1分間遠心する。
- ③ 5×10^5 cells/mL $\sim 1 \times 10^7$ cells/mL となるようにTCプロテクターで希釈する。
※なお、細胞数計測時の細胞浮遊液は水中で保持する。
※細胞により適切な凍結細胞数が異なるので予め予備試験を実施のうえ使用すること。
通常は 1×10^6 cells/mLが目安となる。
- ④ -80°C のディープフリーザーで凍結する。なお、液体窒素で保管する場合には翌日移す。
※本品は、 -80°C のみならず液体窒素下でも保存が可能である。

■ 融解方法 ■

- ① アンプルを 37°C の温湯の中に入れ、素早く融解させる。
- ② スピッツ管に細胞浮遊液を入れ、約10倍量の培地を加えて1,000rpm \sim 1,500rpm で1 \sim 2分間遠心する。
- ③ 細胞沈査を確認し、上清を捨てる。
- ④ 定法に従って、細胞を播種する。

CEL-1/0807D

【お問い合わせ先】

大日本住友製薬グループ

DSファーマバイオメディカル株式会社

(受注・発注/学術的お問い合わせ先)

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町33-94

TEL 06-6386-2164 FAX 06-6337-1606

URL: <http://www.dspbio.co.jp>

E-メール: labopro@bio.ds-pharma.co.jp